

# MANNER社ホイールトルク計

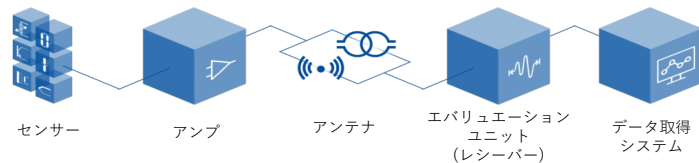
自動車の駆動モーターの出力は周知のとおり最終的にタイヤに効率よく伝えることが重要です。スチールリムでもアルミリムでも、MANNER Sensortelemetrie GmbHは、ホイールとブレーキディスクのトルク、振動、温度計測に最適なアプリケーションと製品を提供します。

軽量で100%防水のMANNER社のデジタルシステムは、正確な測定データを誘導電力で送信し、近接した固定アンテナが弊害になる場合は、無線送信することも可能です。

MANNERは、低消費電力と信頼性の高いデータ転送により、長距離でも、ホイール、リム、ブレーキディスクの測定に関する現在および将来の課題に対するソリューションを提供します。

MANNER社のホイールトルク計は好評あるデジタル通信タイプを使用した低ノイズ、高精度の計測を目的に用意されたものです。

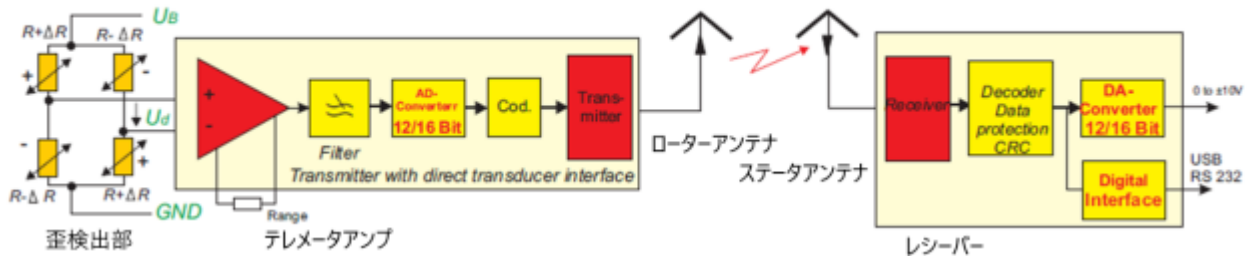
トルク計部とホイールで構成され、トルク計部を取り外し別のホイールにも適用可能です。



トルク計測ディスクの特徴：

- 軽量で防水性と耐久性に優れています。
- クロストークに強い設計
- 内蔵センサー信号増幅器
- センサー：ひずみゲージ
- 計測範囲：500 Nm - 5 kNm
- 計測値値の非接触伝送
- 精度：0.1%
- 表面実装高さ：20 mm
- チャンネルあたりの帯域幅：1 kHz (-3 dB)
- センサ信号増幅器周囲温度：-30° ~125° C
- 誘導エネルギーによるバッテリーフリー設計も可能
- デジタル伝送
- 信号分解能：16ビット

ホイールトルク計の構成

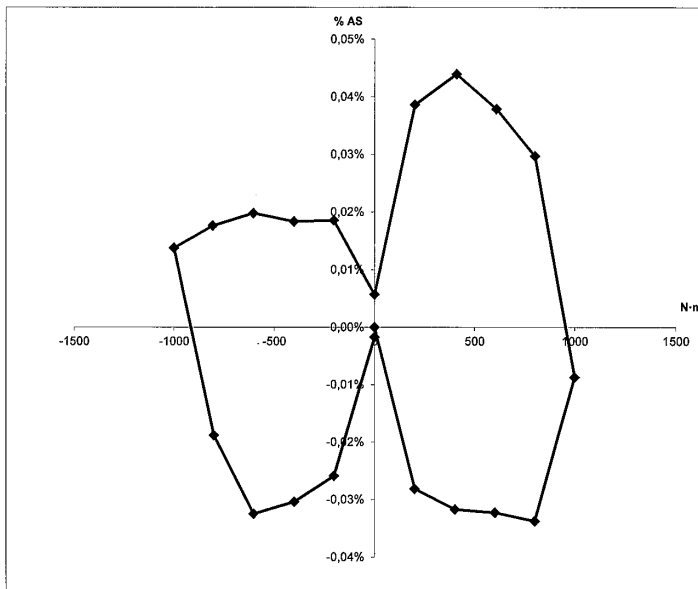


マナーラジオテレメトリーは、過酷な環境下で使用できるように開発されました。無線送信機と小型化されたセンサー信号アンプで構成されています。ひずみゲージブリッジや熱電対、RTD (PT100) はセンサー信号アンプと直接インターフェースしています。



トランスデューサからの信号は、無損失のデジタル化された信号で通信され、フィルタリングされます。信号の分解能は、12ビットまたは16ビット（オプション）です。デジタルデータはエラーチェック機能も付いております。通信距離も5～50mあり、チャンネル間のクロストークも発生しません。

オプションでトルクレンジの調整、ゼロ点補正機能をソフトウェア上で高精度にすばやく変更も可能です。



0.05%クラスのトルク校正

既存のホイールトルク計にも後付け可能なユニバーサルアダプタ付テレメータ

※本カタログに記載の仕様及びデザインは、製品改良のため予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

お問い合わせは  
株式会社 マツイ  
特機事業部 第2営業部  
<http://www.matsui-corp.co.jp>  
[info@matsui-corp.co.jp](mailto:info@matsui-corp.co.jp)  
03-3586-4141